

第22期第13回常任理事会議事録

日時 昭和58年12月19日(月) 13:30~17:10
 場所 気象庁観測部会議室
 出席者 岸保, 嶋村, 杉村, 松野, 竹内, 河村, 増田,
 村山, 田宮, 山元(国際学術交流委員会委員長)
 議事

(1) 昭和59年度予算案について

ア. 会計担当理事から, ①過去5カ年の会員の推移状況及び昭和47年からの会費の値上げの推移, ②今回提案予定の会費値上げ率, ③その必要理由などについて, 資料に基づき説明された。

また, 59年度予算について, ①予算の建て方を変更したこと, ②支出の勘定科目を各事業(「天気」, 「気象集誌」等)毎の項目に変更したこと。

③支出の項で, 「天気」は4000部を基本印刷部数とし, それ以上は増刷にする。年間720頁(広告を除く)。「気象集誌」は年間900頁として計上したこと, ④管理費に国際交流委員会費2万円を新たに計上したことなどの点について, 予算案に基づいて説明された。

イ. さらに, 庶務担当理事から, 予算案の建て方の変更, 支部交付金の増額は値上げ実施後の60年度からとなること, 国際交流委員会への予算計上は, 59年度の値上り分が60年1~3月分だけであるため, 15万円程度の見積もりであることなどの補足説明があった。

ウ. 各理事から, 値上げ率, 値上げの理由となる事業計画の推進の成否, 退会者の増加に伴う減収の問題, 「天気」と「気象集誌」の各事業の分析,

採算の問題等について活発な意見が出された。この結果,

エ. 種々意見もあろうが, 59年2月1日で会員の再集計のうえ, 予算案の再計算, 見積りの再検討をし, 2月中に地方理事に諮る最終案を作成すること, 国際学術交流委員会の予算については, 来年度の事業計画予算案の提案を得て検討することとし, 次期繰り越し金を修正のうえ本案が了承された。また, 本案を, 次期繰り越し金の修正の説明を加えて, 地方理事に送り, 次回までに意見を求めることとなった。

(2) 昭和58年度評議員会の懇談事項について

担当理事から, 「昭和58年(1~12月)事業活動についての報告(案)」に基づいて説明され, 値上げ案と国際学術交流事業の問題を主眼に説明することで, 本案が了承された。

(3) その他

ア. 第23期役員選挙管理委員会の委員長に多田利義(気象庁電計室長), 委員に土屋 喬, 牧原康隆(気象庁予報課), 上野達雄(気象庁長期予報課), 馬淵和雄(気象庁高層課), 篠原吉雄(気象庁海上気象課), 沢井哲滋(気象研), 加藤政勝(気象衛星センター), 中村晃三(東大海洋研)の各氏が委嘱された。

イ. 「天気」の1月号(第31巻第1号)から, 新たなNEWS欄が設けられる。

承認事項 宮田 洋ほか15名の新規会員の加入が承認された。